

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和5年7月3日に管理業務の評価を行った結果は下記のとおりでした。

施設名	見附市コミュニティ銭湯（みつけ健幸の湯 ほっとぴあ）		
指定管理者	株式会社 本久	所管課	地域経済課
評価対象年度	令和4年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	85.6	評価ランク	A
所管課の講評			
来場者数はコロナ前の状況へ戻りつつある。11月の料金改定の影響もあり、収入額は前年度比3,627万円増加したものの、来場者数増に伴い人員体制を整備したことによる人件費の増加や電気・ガス代の高騰が料金改定での見込みよりも大幅に上回ったことで、支出額が前年度比3,974万円増加し、赤字額が前年度比347万円の増となった。 収入の多くを占めている入浴売上について、利用料金は条例で定められている。電気・ガス代の高騰が今後も予測される中、指定管理者の企業努力だけでは収支改善を見込むのは困難なため、適正な価格設定を指定管理者と協議しながら検討していく。			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	81.7	評価ランク	A
評価委員会の講評			
当該施設は、県内でも数少ない充実した設備のコミュニティ銭湯である。コロナウイルス感染症が沈静化して、ようやく市の内外から多くの利用者が訪れるようになった。リピーターが多いことから、基本的に集客能力が高く、計画どおりの収入が得られた。利用者数の増加には、効果的なPR、スタッフの接客態度が良好であること、安心・安全・清潔を重視して施設を運営していること、および利用者を飽きさせないイベントやサービスを提供していることが要因として挙げられる。しかしながら、光熱水費、燃料費、人件費の支出が予想以上に多くなって、結果的に収支決算はマイナスになってしまった。想定外の支出増加は、指定管理者の運営努力で補えるものではないことから、市とも相談して対応策を講じる必要がある。料金の値上げは、市も指定管理者も利用者も望むことではないが、現在の社会情勢を鑑みると、致し方ないとする。引き続き、質の高いサービスと安全・安心を維持して施設運営にあたって欲しい。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。（合計得点が80点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。（合計得点が30点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。（合計得点が30点未満）